

読書活動の推進に向けた取り組み

図書主任 武地 尚美

本校の図書室には、現在約8000冊の本があります。子供たちが6年間の小学校生活の中で、できるだけ多くの本と出会うように、明化小学校ではさまざまな取り組みをしています。今年度は、子供たちが自分のおすすめの1冊を紹介する「学級の本棚」という新たな取り組みも始めました。上級生や友達が紹介している本に興味をもち、これまでは気にもとめなかった本との出会いがあるという仕掛けです。卒業するまでに、1冊でも多くの「大好きな本」と出会うよう、今後も色々なことに取り組んでいきたいと思えます。



↑月1回の読み聞かせと読書週間中の「おはなしかい」

本校の保護者ボランティアによる「本よみ隊」の方々に行っていただいています。本読み隊の方々には、本の修理や図書室の素敵な飾り付けなどもしていただいています。



↑図書支援員によるブックトークと特集コーナー

遠足や社会科見学、国語の学習内容等に関連して、様々なテーマでブックトークをしてくださっています。また、運動会や音楽会などその季節や行事に合わせて、特集コーナーも設置していただいています。



←児童の取り組み「学級の本棚」

各学級ごとに展示する時期を決めて、自分がおすすめる本のポップを書いて本と一緒に展示しています。

【不明になっている本についてのお願い】

現在、約40冊の本が不明本になっています。もし、ご家庭に明化小学校の貸出用バーコード（薄いオレンジ色）が貼ってある本がありましたら、児童を通してお知らせください。よろしくお願いいたします。